

工事名：城南幹線配水管布設替(第1工区)工事

[ 改良301 ]

	質問	回答
1	作業方法について 換気設備が計上されておりましたが、既設管内に人が入っての作業は考えていないということで宜しいでしょうか。	既設管内には人は入らない計画です。
2	既設管内清掃工について 高圧洗浄車・汚泥吸排車が計上されておりましたが、どのように清掃をお考えでしょうか。 また、清掃後に既設管の継手・管内に異常がないかTVカメラ等で調査する必要はないでしょうか。	既設管内清掃工については、高圧洗浄車を用いた方法ではなく、スクレーパ法による清掃を計画しています。 また、令和2年3月に既設管のカメラ調査を実施しており、異常がないことを確認しているため、本工事でのカメラ調査は不要です。
3	既設管内配管工について 立坑は1箇所しか計上されておりましたが、施工方法をどのように考えられていますか。	開削施工箇所に既設管内配管が到達する計画です。
4	本管挿入工について 支圧壁・機械器具損料が計上されておりますが、ウインチまたは推進用ジャッキ等をお考えでしょうか。	本管挿入工については、油圧ジャッキによる押込工法としております。
5	既設管内配管工について 管内調査・施工方法の検討の結果、立坑の追加が必要となった場合は、変更の対象になりますか。	過年度の管内カメラ調査を踏まえて施工方法を検討し、立坑を計画しています。 しかし、現場条件に変化があった場合には受注者と協議します。

	質問	回答
6	<p>充填工について            充填材を充填するのに注入孔とエア抜きを設ける必要があると思いますが、管端閉そくが設計に計上されていません。どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり施工にあたり注入孔と排気孔が必要であり、受注後に受注者と協議します。            なお、設計積算については、設計書のとおり、積算してください。</p>
7	<p>充填工について            図面・数量計算書にはエアミルクと記入されていますが、設計書にはエアモルタルになっています。どちらが正解でしょうか。</p>	<p>エアミルクによる充填が必要であり、エアミルクへの変更につきましては受注者と協議します。            なお、設計積算については、設計書のとおり積算してください。</p>
8	<p>既設管撤去工について            管の撤去は継手取外しで計上されていますが、施工箇所は交差点内での作業であり、交通規制等の影響で、切断等が必要になった場合は、設計変更の対象となりますか。</p>	<p>交通管理者からの指示により、設計と現場との相違が確認できた場合は受注者と協議します。</p>
9	<p>排水工(ドレン工)について            仕切弁からの材料費と布設費が計上されていますでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、施工にあたりドレン管が必要であり、受注後に受注者と協議します。            なお、設計積算については設計書のとおり積算してください。</p>
10	<p>水替工について            排水設備は工事用水中ポンプとなっておりますが湧水量が多く、水中ポンプで対処できない場合はウエルポイントへの変更は可能でしょうか。            また設計変更の対象になりますか。</p>	<p>試掘により設計と現場との相違が確認できた場合は、受注者と協議します。</p>
11	<p>区画線工について            配水管の布設・既設管の撤去時に無くなった区画線の復旧は設計変更の対象になりますか。</p>	<p>区画線の復旧について現場条件に変化が生じた場合には受注者と協議いたします。</p>

	質問	回答
12	土砂・運搬等について 上記の運搬が夜間で計上されていますが、指定の処分先は夜間での受け入れが可能なのでしょうか。可能でない場合は、仮置きが必要になってきますが変更の対象になりますか。	建設発生土の搬出先は、土木標準積算基準書に基づき、現場から一番安価の場所を選定しています。 受け入れ先が原因で搬入できない場合は、受注者と協議します。
13	試掘工について 埋設管が密集している箇所であり、設計の試掘工の数量以上が必要になった場合は、設計変更していただけますか。	設計では予想される近接地下埋設物を確認するために必要な試掘数を計上しています。 ただし試掘工の追加については受注者と協議します。
14	PN形用キャストバンドについて φ800の既設管にφ400の新設管を布設することからキャストは管下の箇所しか機能しないと思われませんが、既設管内に段差や隙間がありキャストの数を増やさなければいけなくなった場合変更の対象になりますか。	過年度の管内カメラ調査により、段差や継手の屈曲を確認し、今回のPN形用キャストバンドの必要数を計上しております。 ただし、設計と現場に相違があれば受注者と協議します。
15	地盤改良工について 試掘工の結果、設計と差異が生じた場合は設計変更していただけますか。	ボーリング調査資料による土質条件により地盤改良工の設計をしております。
16	既設管撤去について 交差点から北側のφ800の撤去ラインですが、既設管の真上に消雪が入っているように見えます。 どのように考えておられますか	試掘結果により、消雪設備が支障となる場合は、施設管理者と協議の上、施工方法について、受注者と協議します。
17	支圧壁、挿入設備について 設置数が1箇所となっていますが、東側・西側に挿入するので2箇所ではないですか	ご指摘のとおり施工にあたって、支圧壁、挿入設備は2箇所必要です。 なお、設計積算については、設計書のとおり、積算してください。

	質問	回答
18	工区界の施工について 工区界は開削工事となっていますが、2工区合わせた施工手順をお示してください(既設管内での管の到達確認～工区界での接続～モルタル充填)	挿入管の到達に合わせて既設管を撤去し、到達側の管を確認することとしています。そのあと、モルタル充填し、第2工区工事にて工区界を接続することと計画しています。